【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成19年7月5日(2007.7.5)

【公開番号】特開2005-347820(P2005-347820A)
【公開日】平成17年12月15日(2005.12.15)
【年通号数】公開・登録公報2005-049
【出願番号】特願2004-161755(P2004-161755)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｑ　9/00　(2006.01)
Ｇ１１Ｂ　31/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｑ　9/00　３２１Ｂ
Ｈ０４Ｑ　9/00　３０１Ｅ
Ｈ０４Ｑ　9/00　３１１Ｌ
Ｇ１１Ｂ　31/00　５１１Ｂ
Ｈ０４Ｎ　5/00　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成19年5月21日(2007.5.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
本体の操作のための第１モードにおいて専用に使用される専用キーと、外部装置の操作のための第２モードと前記第１モードとにおいて兼用して使用される兼用キーと、前記第１モードから前記第２モードへ制御モードを変更する変更キーと、キー操作に応じてコード信号を放射光として送信する第１発光部と、前記第１モード時に前記専用キー又は兼用キーを連続的に押下されると、押下されたキーのキーコードと連続押下を意味する連続コードを送信し、前記第２モード時に前記専用キーを連続的に押下されると、前記専用キーのキーコードのみを送信するべく前記発光部を制御する制御部をもつリモコン部と、
情報を記録し再生する記録再生部と、
前記外部装置にコード信号を放射光として送信する第２発光部と、
前記リモコン部の前記第１発光部からの前記コード信号を受け、これに基づき前記第１モードが選ばれる時、前記受けたコード信号に応じて前記記録再生処理部を制御して記録再生処理を施し、又、前記第２モードが選ばれる時、前記第１発光部からの前記コード信号に応じて、前記第２発光部を介して所定コード信号を外部装置に供給するべく制御する主制御部を具備することを特徴とする記録再生装置。
【請求項２】
前記制御部は、制御モードが前記第２モードに移行してから所定時間経過した後に、自動的に前記第１モードへと制御モードを変更することを特徴とする請求項１記載の記録再生装置。
【請求項３】
前記制御部は、制御モードが前記第２モードに移行してから、前記兼用キー以外のキーが押下されたことを検出すると、前記第１モードへと制御モードを変更することを特徴とする請求項１記載の記録再生装置。

【請求項４】
前記リモコン部は、前記制御部が制御モードとして前記第２モードを選択していることを表示する表示部を更に有することを特徴とする請求項１記載の記録再生装置。
【請求項５】
前記制御部が前記変更キーの押下を検出した時は、前記発光部から、前記第１モードから前記第２モードへの制御モードの変更を意味するコード信号の発光を所定時間の間隔で所定回数反復するべく制御することを特徴とする請求項１記載の記録再生装置。
【請求項６】
情報を記録し再生する記録再生部と、前記外部装置にコード信号を放射光として送信する第２発光部とを有する記録再生装置を制御する際に、
本体の操作のための第１モードにおいて専用に使用される専用キーと、外部装置の操作のための第２モードと前記第１モードとにおいて兼用して使用される兼用キーと、前記第１モードから前記第２モードへ制御モードを変更する変更キーと、キー操作に応じてコード信号を放射光として送信する第１発光部とを有するリモコンを用いて、
前記リモコンにおいては、前記第１モード時に前記専用キー又は兼用キーを連続的に押下されると、押下されたキーのキーコードと連続押下を意味する連続コードを送信し、前記第２モード時に前記専用キーを連続的に押下されると、前記専用キーのキーコードのみを送信するべく前記発光部を制御し、
前記記録再生装置においては、前記リモコンの前記第１発光部からの前記コード信号を受け、これに基づき前記第１モードが選ばれる時、前記受けたコード信号に応じて前記記録再生処理部を制御して記録再生処理を施し、又、前記第２モードが選ばれる時、前記第１発光部からの前記コード信号に応じて、前記第２発光部を介して所定コード信号を外部装置に供給するべく制御することを特徴とする記録再生装置の制御方法。
【請求項７】
前記リモコンにおいては、制御モードが前記第２モードに移行してから所定時間経過した後に、自動的に前記第１モードへと制御モードを変更することを特徴とする請求項６記載の記録再生装置の制御方法。
【請求項８】
前記リモコンにおいては、制御モードが前記第２モードに移行してから、前記兼用キー以外のキーが押下されたことを検出すると、前記第１モードへと制御モードを変更することを特徴とする請求項６記載の記録再生装置の制御方法。
【請求項９】
前記リモコンにおいては、前記制御モードとして前記第２モードを選択していることを表示する表示部を用いることを特徴とする請求項６記載の記録再生装置の制御方法。
【請求項１０】
前記リモコンにおいては、前記変更キーの押下を検出した時は、前記発光部から、前記第１モードから前記第２モードへの制御モードの変更を意味するコード信号の発光を所定時間の間隔で所定回数反復するべく制御することを特徴とする請求項６記載の記録再生装置の制御方法。
【請求項１１】
第１モードにおいて専用に使用される専用キーと、
前記第１モードと第２モードとにおいて兼用して使用される兼用キーと、
前記第１モードから前記第２モードへ制御モードを変更する変更キーと、
前記専用キー又は前記兼用キーの押下に応じてコードを発光する発光部と、
前記第１モード時に前記専用キー又は兼用キーを連続的に押下されると、押下されたキーのキーコードと連続押下を意味する連続コードを送信し、前記第２モード時に前記専用キーを連続的に押下されると、前記専用キーのキーコードのみを送信するべく前記発光部を制御する制御部を具備することを特徴とするリモコン装置。